

# 武庫川の河川整備計画における河道分担量の考え方

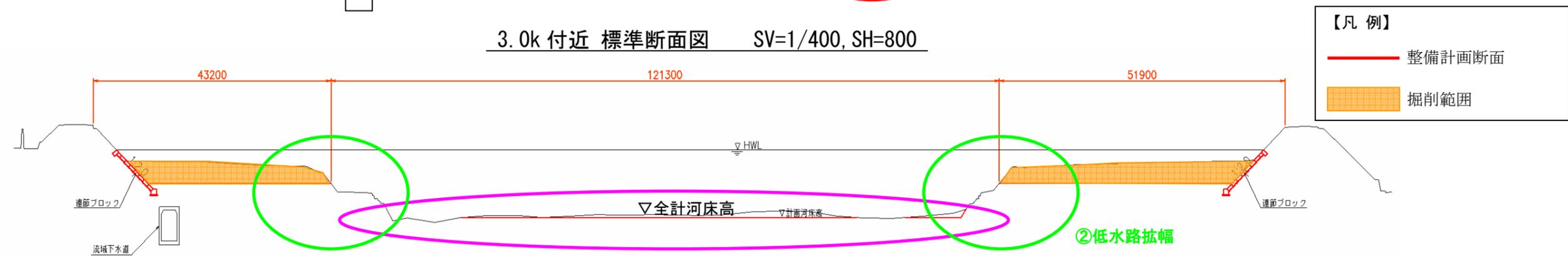
・ 武庫川の下流域（河口～名塩川合流点）について、整備計画期間内に実現可能な河道分担量は、甲武橋地点 2,800m<sup>3</sup>/s が上限であることを補足説明する。  
（第40回流域委員会 資料2-9）

## 武庫川河川整備計画改修断面図（1/4）

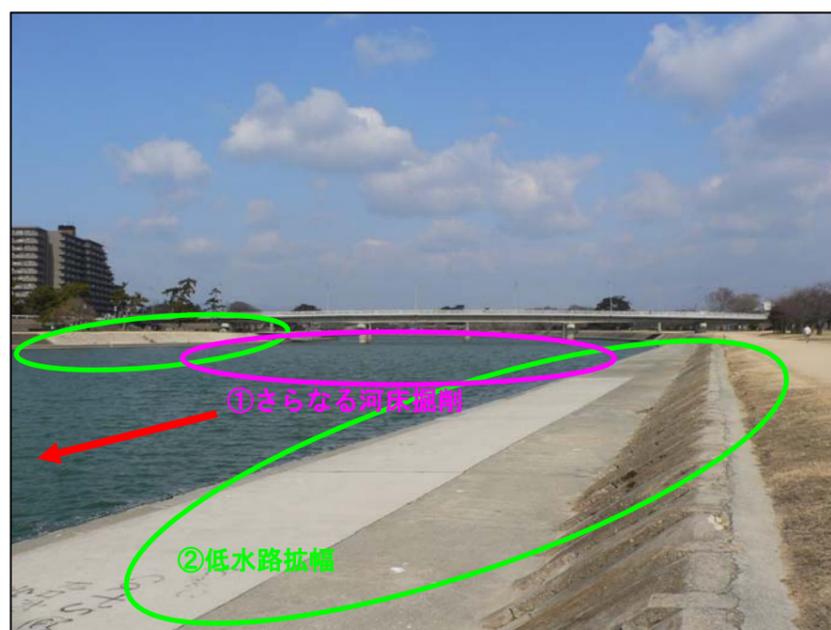
武庫川現況航測写真（0.0k～5.0k）



3.0k 付近 標準断面図 SV=1/400, SH=800



武庫川橋付近 現況写真

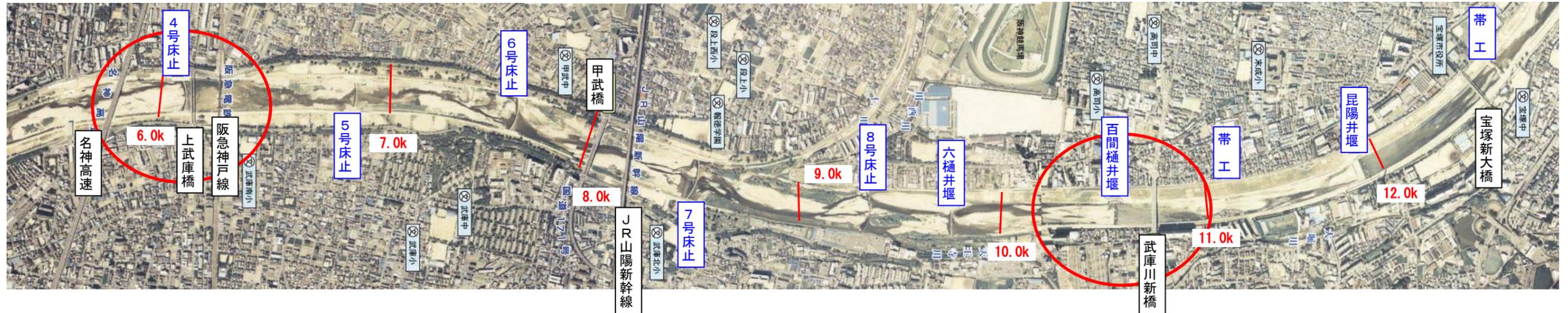


**【甲武橋地点 2,800m<sup>3</sup>/s 超を河道に分担させる場合の河道対策】**

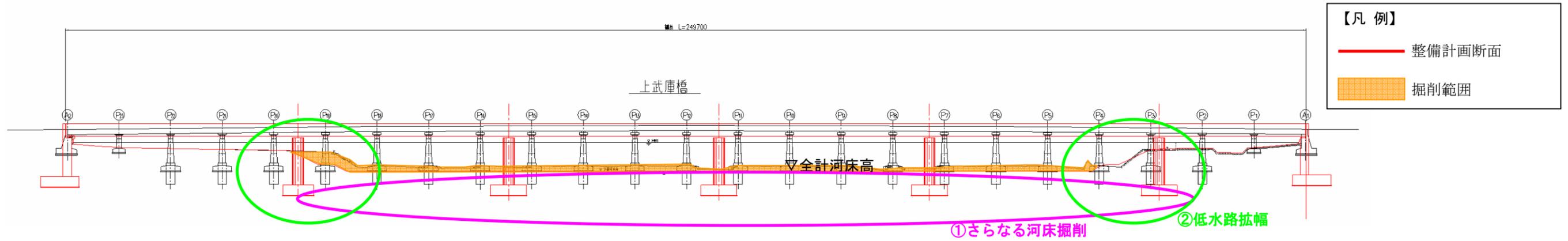
- ①全体計画河床高からさらに河床掘削を行う場合  
→「阪神電鉄」の橋脚基礎の根入れが不足し、架替が必要となる。  
また、「潮止堰」、床止の再改築等が必要となる。
- ②低水路の拡幅を行う場合  
→広範囲にわたり、低水護岸の再整備が必要となる。  
また、「潮止堰」の再改築（継ぎ足し等）が必要となる。

# 武庫川河川整備計画改修断面図 (2/4)

武庫川現況航測写真 (6.0k~12.0k)



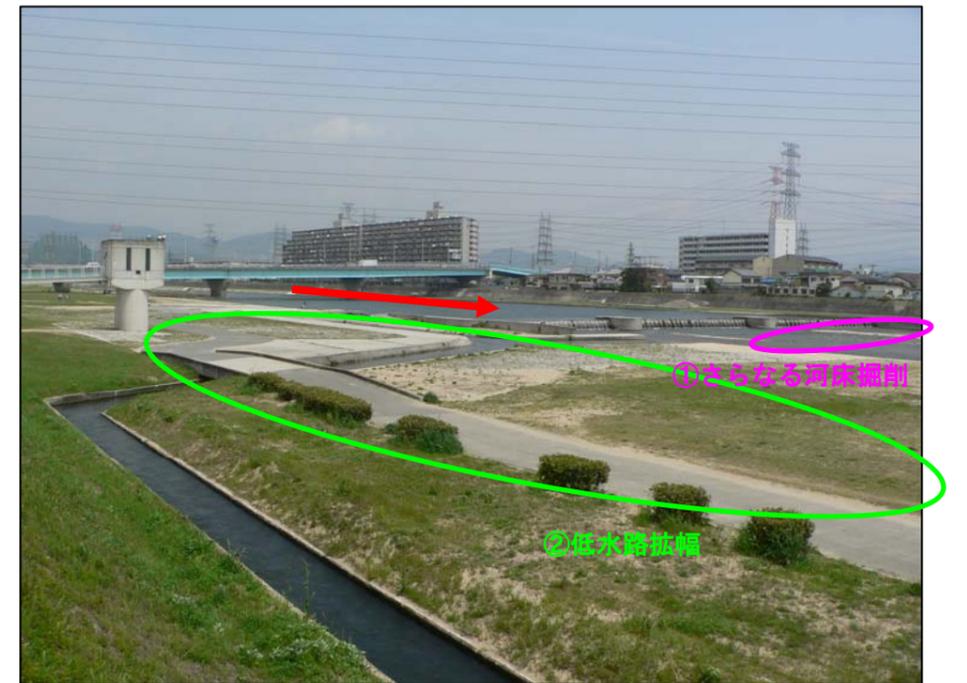
上武庫橋 (6.0k 上流) 標準断面図 S=1/800



上武庫橋付近 現況写真



百間樋井堰付近 現況写真

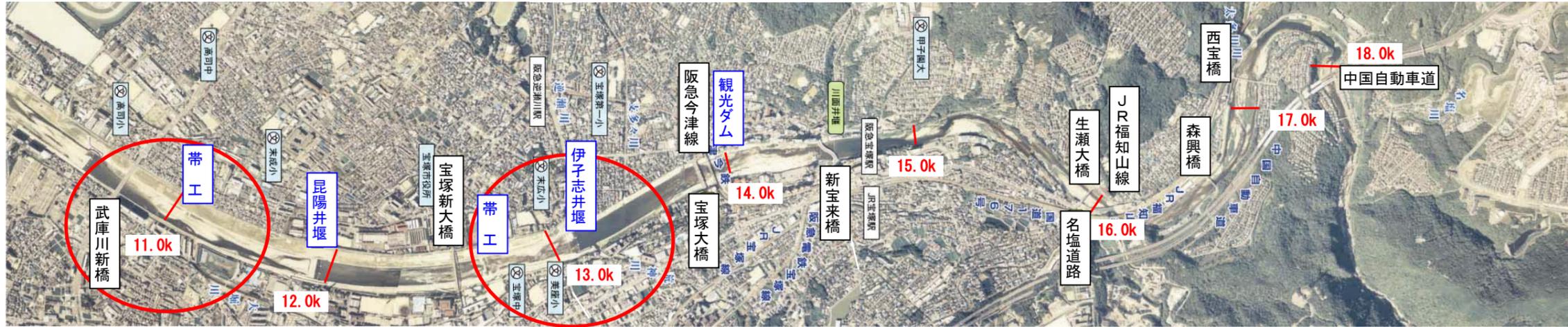


## 【甲武橋地点 2,800m<sup>3</sup>/s 超を河道に分担させる場合の河道対策】

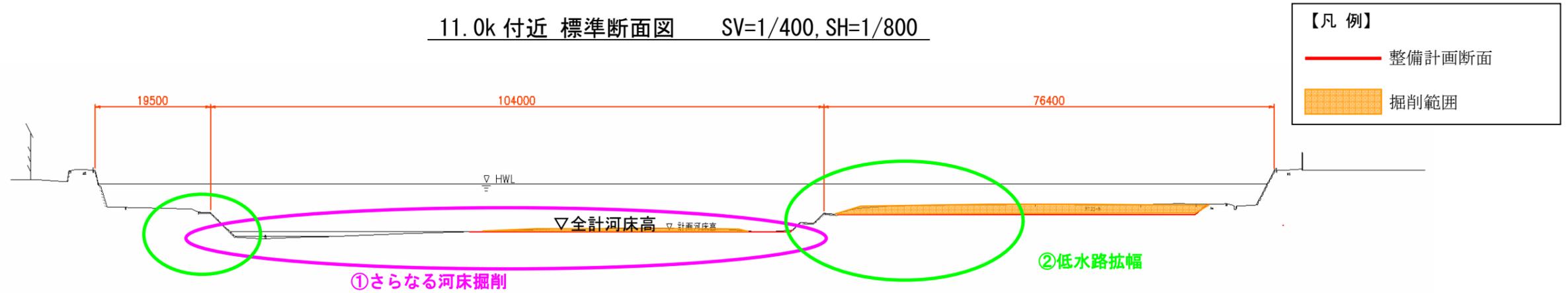
- ①全体計画河床高からさらに河床掘削を行う場合  
→「甲武橋」等で、橋脚基礎の根入れが不足し、架替が必要となる。  
また、「百間樋井堰」、「六樋井堰」、床止の再改築等が必要となる。
- ②低水路の拡幅を行う場合  
→広範囲にわたり、低水護岸の改築が必要となる。  
また、「百間樋井堰」、「六樋井堰」、床止の再改築（継ぎ足し等）が必要となる。

武庫川河川整備計画改修断面図 (3/4)

武庫川現況航測写真 (11.0k~18.0k)



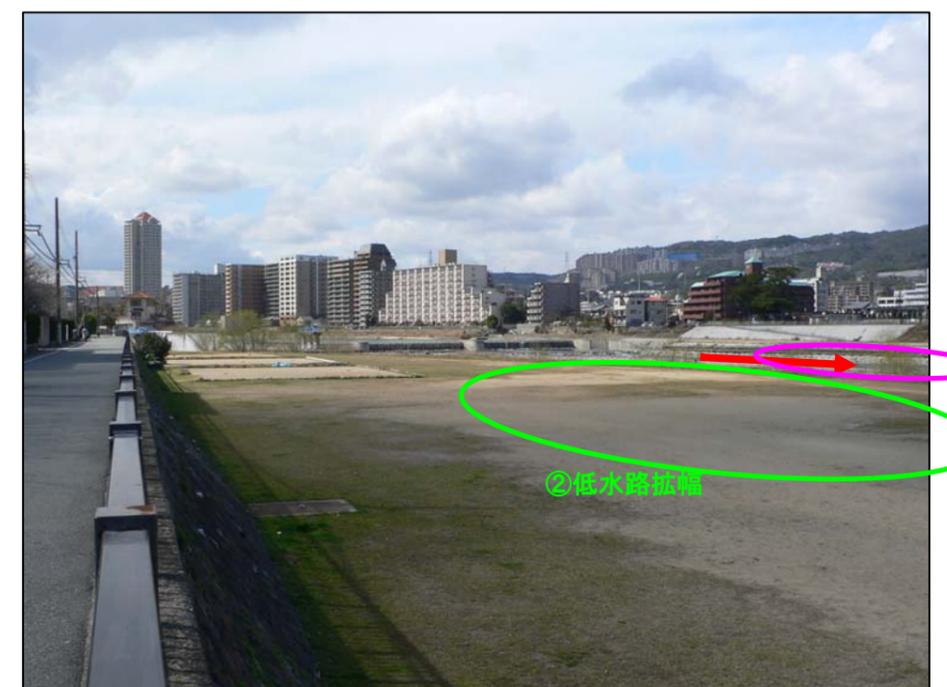
11.0k 付近 標準断面図 SV=1/400, SH=1/800



武庫川新橋上流 (11.0k 付近) 現況写真



伊子志井堰下流 (13.0k 付近) 現況写真



【甲武橋地点 2,800m<sup>3</sup>/s 超を河道に分担させる場合の河道対策】

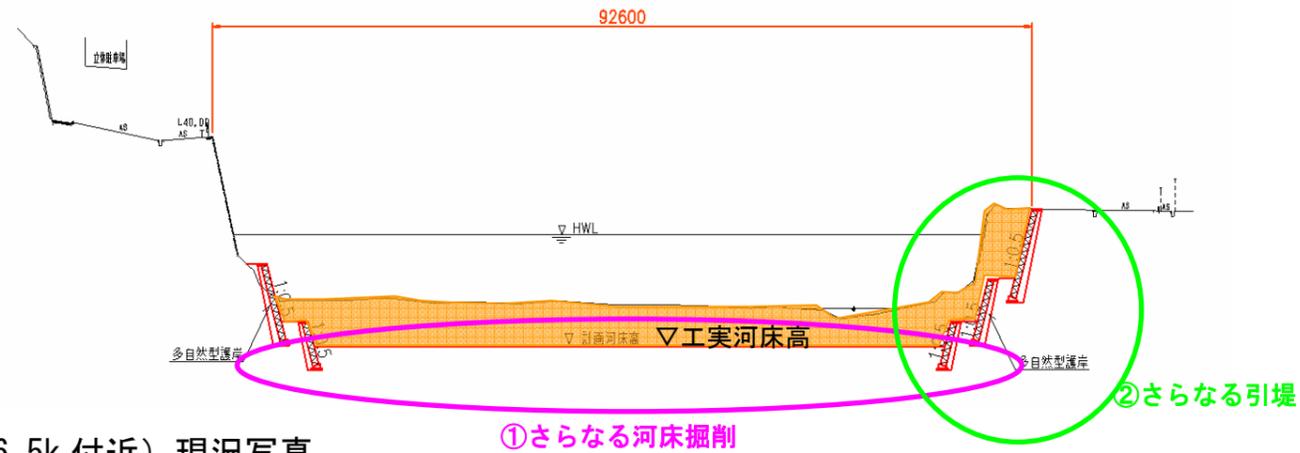
- ①全体計画河床高からさらに河床掘削を行う場合  
→「阪急今津線」等で、橋脚基礎の根入れが不足し、架替が必要となる。  
また、「昆陽井堰」、「伊子志井堰」、床止の再改築等が必要となる。
- ②低水路の拡幅を行う場合  
→広範囲にわたり、低水護岸の改築が必要となる。  
また、「昆陽井堰」、「伊子志井堰」等の再改築（継ぎ足し等）が必要となる。

# 武庫川河川整備計画改修断面図 (4/4)

武庫川現況航測写真 (11.0k~18.0k)



16.5k 付近 標準断面図 SV=1/400, SH=1/800



森興橋下流 (16.5k 付近) 現況写真



**【甲武橋地点 2,800m<sup>3</sup>/s 超を河道に分担させる場合の河道対策】**

- ①工実計画河床高からさらに河床掘削を行う場合  
→「観光ダム」の再改築が必要となる。
- ②さらに大規模な引堤を行う場合  
→「JR福知山線橋梁」の架替が必要となる。

【河川整備計画】 武庫川本川下流域の河道分担流量 案〔河道流下能力との対比〕

